

令和4年度事業報告書

1 事業実施の方針

- 当相談室が掲げた経済的自立支援の3つのテーマ、①障害者の金融リテラシー、②親なきあと、③法人後見に基づく事業を展開した。
- 設立当初の事業年度は、以下の事業を確実に実施するとともに、次年度以降に向けた準備を行うこととした。
- 関係団体との連携・協働を図った。

2 事業内容

(1) 将来への備えの普及啓発事業

① 中期目標

- 2027年までに、知的、精神、発達障害の主要な家族会・家族教室10か所で、「親なきあと」など将来をテーマにした学習会をシリーズ化して行う。
- 2027年までに、「親なきあと」に関するアンケート調査を行い、「親なきあと」の経済的不安の回答を85%に削減する(2009年、92%)。

② 現状と課題

- 法人設立前からの取り組みで、単発の学習会を行うことができたが、一度の勉強会では、参加者の理解や行動に結びつくことが難しい。
- 学齢期・成人期の家族は「親なきあと」などに関心を持っているが、どのように教室を行えば良いかわからない状況にある。
- 仙台市中心部では、障がい者福祉団体の取り組みにより、「親なきあと」などに関する学習会の機会はあるが、宮城県の県北県南地域になるとその学習会の機会は少ない。
- 新型コロナウイルスの影響で、家族会・家族教室の開催を中断している状況にある。

③ 実施内容

上記の課題をふまえて、障害者福祉団体および家族会に対するセミナーを行った。

回	日時	場所	対象(人)
1	4月10日(日) 11:00~12:00	仙台スイミングスクール	(一社)MOTTO/家族(8人)
2	4月24日(日) 10:00~11:30	宮城県障害者福祉センター	宮城県心臓病の子どもを守る会/家族(5人)
3	4月29日(金・祝) 10:00~12:00	Athletics jum	Athletics jum/家族(3人)
4	6月11日(土) 14:00~15:00	宮城県障害者福祉センター	(特非)ぞうさんの家/会員(22人)
5	6月14日(火) 16:30~18:00	泉社会福祉センター	泉区実務者ネットワーク会議/支援者(55人)
6	6月16日(木) 18:00~20:30	泉中央市民センター	宮城県中小企業家同友会 /中小企業経営者(23人)
7	7月10日(日) 10:00~11:30	泉社会福祉センター	宮城県心臓病の子どもを守る会/家族(5人)
8	7月15日(金) 10:30~11:30	山田市民センター	the challenged GH/家族会(8人)
9	8月29日(月)	仙台みらい高等学園	仙台みらい高等学園/保護者(30人)

	13:00~14:00		
10	9月8日(木) 10:00~12:00	亘理町役場	ベリーの会/家族(6人)
11	9月29日(木) 14:00~16:00	福祉プラザ	ここねっと/家族(16人)
12	10月15日(土) 10:00~12:00	石巻市民センター	愛さんさん/家族・職員(16人)
13	11月2日(水) 10:00~12:00	気仙沼市民福祉センター	ふぁみりあ/家族(13人)
14	10月10日(木) 18:00~20:00	ゆあいらいふ	宮城・仙台障害者相談支援従事者協会 /支援者(7人)
15	12月4日(日) 10:00~12:00	宮城野障害者福祉センター	宮城県手をつなぐ育成会/本人・家族(9人)
16	1月21日(土) 13:00~15:00	ま〜ぶるび〜と	ま〜ぶるび〜と/家族(21人)
17	1月29日(日) 10:00~12:00	宮城県障害者福祉センター	宮城県障害者福祉センター/家族(20人)
18	3月24日(金) 16:00~18:00	アビリティーズジャスコ	アビリティーズジャスコ/本人・家族・支援者

<発達障害者意見交換会>1回~6回:ここねっとヤマト福祉財団助成事業、7回~11回仙台市事業

回	日時	テーマ	場所
1	6月28日(火) 13:30~15:00	将来のことを話してみませんか (13人)	仙台市福祉プラザ
2	7月12日(火) 13:30~15:00	親なきあとについて (17人)	仙台市福祉プラザ
3	8月9日(火) 13:30~15:00	お金を貯める・残す~親のライフイベント・子のライフイベント(9人)	仙台市福祉プラザ
4	8月30日(火) 13:30~15:00	お金を管理する~親なきあとの家計・財産管理 (14人)	仙台市福祉プラザ
5	9月13日(火) 13:30~15:00	居場所~社会資源 (9人)	仙台市福祉プラザ
6	9月27日(火) 13:30~15:00	積立投資(iDeCo、NISA)感想・まとめ (11人)	仙台市福祉プラザ
7	12月2日(金) 13:30~15:00	なぜ「親なきあと」対策が必要か	仙台市福祉プラザ
8	1月6日(金) 13:30~15:00	資金計画	仙台市福祉プラザ
9	2月1日(水) 13:30~15:00	障害者の契約とトラブル	仙台市福祉プラザ
10	3月1日(水) 13:30~15:00	生命保険の考え方	仙台市福祉プラザ
11	3月1日(水) 13:30~15:00	ライフプラン	仙台市福祉プラザ

<FPサロン> ※6回～11回は宮城県赤い羽根共同募金会助成事業

回	日時	テーマ	場所
1	4月21日(木) 10:00～11:30	みんなで暮らしを考えよう (6人)	宮城県障害者福祉センター
2	5月19日(木) 10:00～11:30	みんなで暮らしを考えよう (6人)	宮城県障害者福祉センター
3	6月16日(木) 10:00～11:30	「親なきあと」など気になるテーマを話しましょう (10人)	宮城県障害者福祉センター
4	7月21日(木) 10:00～11:30	「親なきあと」など気になるテーマを話しましょう (10人)	宮城県障害者福祉センター
5	9月15日(木) 10:00～11:30	障害年金 (9人)	宮城県障害者福祉センター
6	10月20日(木) 10:00～11:30	わかりやすい生命保険の考え方 (4人)	宮城県障害者福祉センター
7	11月17日(木) 10:00～11:30	障がいのある子の運動習慣 (6人)	宮城県障害者福祉センター
8	12月15日(木) 10:00～11:30	成年後見人からみた成年後見制度 (10人)	宮城県障害者福祉センター
9	1月19日(木) 10:00～11:30	障がいのある人たちの芸術文化活動を知ってみよう (5人)	エイブル・アート・ジャパン
10	2月17日(木) 10:00～11:30	親なきあとの勉強会 (6人)	宮城県障害者福祉センター
11	3月15日(木) 10:00～11:30	ファイナンシャル・プランナーとは (5人)	宮城県障害者福祉センター

<市町村自立支援協議会等関係>

回	日時	場所	対象(人)
1	7月12日(火) 10:30～11:00	岩沼市役所	岩沼市自立支援会議/支援者(16人)
2	10月21日(金) 13:30～15:30	亶理町中央市民センター	亶理町自立支援協議会/支援者(32人)
3	1月24日(火) 14:00～15:00	亶理町役場	亶理町自立支援協議会/支援者(9人)
4	2月20日(月) 10:00～12:00	さるびあ館	美里町自立支援協議会/家族(学齢期)
5	2月21日(火) 10:00～11:30	富谷市中央公民館	富谷市・ここねっと/家族(5人)
6	2月24日(月) 10:00～12:00	さるびあ館	美里町自立支援協議会/家族(成人期)
7	2月24日(月) 13:00～17:00	さるびあ館	美里町自立支援協議会/家族(成人期) ※相談会
8	3月3日(金) 10:00～11:30	富谷市中央公民館	富谷市・ここねっと/本人(4人)

<障がいのある子の親のための「将来サロン」～親は金融リテラシーの向上、子はレクリエーションへ>

※仙台市消費生活センター助成事業

回	日時	テーマ	場所
1	10月1日(土) 10:00~12:00	「親なきあと」や8050問題の対策 講師 夏目 雅貴 氏 (FP/仙台市「8050世帯の課題講演会」講師) (12人)	若林体育館
2	11月19日(土) 10:00~12:00	「障害年金」などの申請と使い方 講師 片岡 昌樹 氏(社会保険労務士) (10人)	若林体育館
3	12月10日(土) 13:30~15:30	NISA、iDeCoなど金融商品の選択で留意すること 講師 小嶋美和子 氏(AFP(日本FP協会認定)) (4人)	宮城県障害者福祉センター
4	1月28日(土) 13:30~15:30	ライフステージの生活課題と支援事例 講師 (一社)IGUNAL(相談支援専門員) (4人)	宮城県障害者福祉センター

<障がいのある子のお父さんの交流&勉強会>※まちスポ仙台助成金助成事業

回	日時	テーマ	場所
1	10月21日(金) 18:30~20:30	障がいのある我が子の今と将来を考えてみませんか? 講師 榎村 恵三 氏 (支援学校 仙台みらい高等学園 校長) (4人)	仙台市福祉プラザ
2	11月25日(金) 18:30~20:30	障がいのある子の進路は? 講師 榎村 恵三 氏 (支援学校 仙台みらい高等学園 校長) (4人)	仙台市福祉プラザ
3	12月23日(金) 18:30~20:30	「障害基礎年金」の申請と使い道 講師 片岡 昌樹 氏(社会保険労務士) (4人)	仙台市福祉プラザ
4	1月13日(金) 18:30~20:30	考えよう、ライフプラン (3人)	仙台市福祉プラザ

<「親なきあと」サポートブック作成>※ここねっとヤマト福祉財団助成事業

- ・ガイドブック 500部 オールカラー20頁
- ・打ち合わせ(支援学校元校長ほか7人)全18回

<学齢期の障がい者の親向けガイドブック作成事業>※みやぎ生協助成金助成事業

- ・ガイドブック 500部 オールカラー24頁
- ・打ち合わせ(支援学校PTA会長等7人)

回	日時	内容	場所
1	10月13日(木) 10:30~12:00	説明 構成について①	宮城県障害者福祉センター
2	10月24日(月) 10:00~12:00	構成について②	宮城県障害者福祉センター
3	11月15日(火) 10:00~12:00	構成について③	若林障害者福祉センター
	11月16日(水)		宮城県障害者福祉センター

	10:00～12:00		
4	12月16日(金) 10:00～12:00	構成について④	宮城県障害者福祉センター
5	1月19日(木) 13:00～15:00	校正	宮城県障害者福祉センター

④ 成果

- (社福)宮城県障害者福祉協会肢体不自由児協会事業や市町村自立支援協議会の企画により、県北南地域の家族会などで学習会を行うことができた。
- ここねっとともに、発達障害者の意見交換会をシリーズ化して行うことができた。参加した家族は、会の終了後も他の家族と意見交換をするなど、親なきあとを含めた将来への意識の高まりがみられた。
- 助成金を利用して成人期向け、学齢期向けのサポートブックを作成した。本サポートブックを利用した勉強会が家族会で自発的に行われた。

⑤ 次年度に向けて

仙台市内では、親なきあとや8050問題の学習会が当相談室以外でも行われていることから、本課題に関する家族の理解が高まっている。今後、仙台市外で積極的に関わりを持つことを目指す。

発達障害者の学習会では、本人を交えた学習会の要望があった。ここねっとにおいて本人と家族のサロンを企画する動きがあることから、次年度もここねっとと協働して本取り組みを行う。

(2) 金融リテラシーを身につけるための事業

① 中期目標

- 2027年までに、知的、精神、発達障害に対するライフプランセミナーを実施して、障がい当事者の金融リテラシーの向上を図る。
- 宮城県内の主要な福祉団体10か所の職員に対して金融の啓発に関する勉強会を実施し、支援の現場に役立てる。

② 現状と課題

- 支援者として障害者の生活支援に携わる一方で、金融知識の不足から自身の生活に不安を抱える職員は少なくない。
- 障害者の中には、不適切に金融商品を利用することにより損失を被るリスクがある。
- 障害者の中には、障害特性により金銭管理に困難性がある。

③ 実施内容

上記の課題をふまえて、障害者福祉団体の職員の金融リテラシー向上を目指した研修を行った。

回	日時	場所	対象
1	4月27日(水) 9:00～9:30	わ・は・わ大衡	るーぶ会議/職員
2	5月25日(水) 9:00～9:30	わ・は・わ大衡	るーぶ会議/職員
3	6月22日(水) 9:00～9:30	わ・は・わ大衡	るーぶ会議/職員
4	9月21日(水) 9:00～9:30	わ・は・わ大衡	るーぶ会議/職員
4	1月25日(水) 9:00～9:30	わ・は・わ大衡	るーぶ会議/職員
5	2月18日(土)	若林障害者福祉センター	ここねっと/職員

	15:30~16:30		
--	-------------	--	--

<本人向けお金の勉強会>※ここねっと自主事業（理事との協働事業）

回	日時	内容	場所
1	11月26日（土） 15:30~17:00	好きなこと（趣味とお金）	若林障害者福祉センター
2	12月24日（土） 15:30~17:00	お金の基本	若林障害者福祉センター
3	1月28日（土） 15:30~17:00	病気になった時に必要なお金、将来のお金	若林障害者福祉センター
4	2月25日（土） 15:30~17:00	家計簿アプリ	若林障害者福祉センター
	3月25日（土） 15:30~17:00	契約とトラブル	若林障害者福祉センター

④ 成果

- ・ 当事者への支援実例を紹介することで、支援者側の金融リテラシー向上がみられた。
- ・ 職員の金融リテラシー向上により、経済的な課題をもつ本人および家族の連携が3件あった。

⑤ 次年度に向けて

- ・ ここねっと、みんなの輪と協働で、仙台市市民協働事業として、本人向けの勉強会をシリーズ化して実施する。
- ・ 市町村自立支援協議会、障がい者福祉団体の職員向けの金融リテラシーに必要な勉強会を開催する。

(3) ライフプラン支援事業

① 中期目標

- ・ FPと相談支援専門員の協働支援体制を構築する。
- ・ 新規のライフプラン支援を月10件行える体制を構築する。

② 現状と課題

- ・ FPの認知度が低く、障害当事者および家族へのライフプラン支援が伸びない。
- ・ 障害者支援を希望するFPが出てきたが、障害者支援の理解度が低い。

③ 実施事例

<事例1> ※継続 仙台市在住

父	80歳代、年金生活者
母	70歳代、年金生活者 ※相談者
長男	40歳代、一般就労（契約社員）、発達障害（精神2級）
次男	40歳代、一般就労（契約社員）、発達障害（精神2級）

<事例2> ※継続 仙台市在住

父	70歳代、年金生活者
母	70歳代、年金生活者
長男	40歳代、契約社員（障害者雇用）、精神3級（自閉症） ※相談者
次男	30歳代、正社員

<事例3> ※継続 仙台市在住

父	40歳代、公務員
母	40歳代、契約社員 ※相談者
長男	20歳代、大学生
長女	20歳代、ひきこもり支援センター利用 手帳申請

<事例4> ※継続 名取市在住

父	50歳代、公務員
母	50歳代、主婦 ※相談者
長女	10歳代、支援学校通学、療育A、医療的ケア

<事例5> ※新規 丸森町在住

母	60歳代、団体職員 ※相談者
長女	30歳代、ひきこもりあり ※仙台市親なきあと生活設計事業 継続支援

④ 成果

- 事例3については月1回程度の定期面談を継続中。当初の子の支援のほか、祖母、兄の相談あり。兄の相談については、仙台市親なきあと生活設計事業にて対応。
- 事例4については他のFPと連携した。FP独自の視点が発揮された事例あり。
- 事例5については仙台市親なきあと生活設計事業からの継続相談希望者。家計収支がマイナスの状態にあり、ライフプラン作成のうえ、家計の適正化を図っている。

⑤ 次年度に向けて

- 仙台市在住者は、ライフプラン作成までは仙台市親なきあと生活設計事業にて対応する。
- 仙台市外在住者は、ライフプラン作成から会員サポートとして対応する。

⑥ 仙台市親なきあと生活設計事業 ※新規

● 中期目標

- 常勤職員3名分の人件費を含めた事業委託を受ける。
- ひきこもり支援の強化を図る。

● 現状と課題

- ひきこもり者や8050世帯は課題がひっ迫している。
- 90件の既相談者の対応。

● 10月から3月にかけて学習会と相談会を実施した。

※別紙のとおり

● 成果

- FP6名の協力を得ることができた。
- 経済的課題のアプローチが、ひきこもり者や発達障害者の支援への効果がみえた。

● 次年度に向けて

- マネーライフプランによる支援を本格的に実施する。
- 全国的にも類を見ない支援と言われているため、ここねっと、みんなの輪等と協働する。
- 独立系FP、ソーシャルワーカーとの支援体制を構築する。
- 令和6年度に向けた下地作りを行う。

(4) キャリアコンサルタント事業

① 中期目標

- 法人会員の事業所に勤務する職員に対して、FP視点を盛り込んだキャリア研修を実施する。

② 現状と課題

- 多くの障害者福祉団体では、障害者支援に関わる職員に対する研修は技術的な研修が中心で、のキャリア形成に関する研修の実績が少ない。
- スポーツ庁の「持続可能な国際競技力向上プラン」（通称、室伏プラン）では、アスリート育成にあたり、「現役アスリートとしての活躍の先にあるキャリアも見据えて取り組むことも重要」とされている。パラアスリートに対するキャリア形成のための研修ニーズがある。

③ 実施内容

上記の課題をふまえて、キャリアとファイナンシャルプランニング研修を行った。

回	日時	場所	対象
1	4月30日(土) 19:00~20:30	ナショナルトレーニングセンター	(一社)日本パラ水泳連盟/ 選手・コーチ(15名)
2	8月13日(土) 19:00~20:30	ナショナルトレーニングセンター	(一社)日本パラ水泳連盟/ 選手・コーチ(15名)
3	10月8日(土) 19:00~20:30	ナショナルトレーニングセンター	(一社)日本パラ水泳連盟/ 選手・コーチ(15名)
4	12月24日(土) 19:00~20:30	ナショナルトレーニングセンター	(一社)日本パラ水泳連盟/ 選手・コーチ(15名)

④ 成果

- パラ選手に対して、アスリート活動に必要なお金の理解を促すとともに、アスリートとしての社会的な役割について考える機会を設けることができた。
- メダリストより将来に向けた資産管理について相談があった。

⑤ 次年度に向けて

- 日本パラ水泳連盟の合宿では、4月は学習会+相談対応を行う。